平成24年9月1日
第 64 号

やかたばら環境通信

◇◇ 発行 ◇◇
八方原の環境を守る会
代表 黒瀬和美
電話 972・5819

中国農政局から指導

昨年から始まった施設の長寿命化に取り組む向上対策事業について、正しく行われているかどうか、国の調査が行われました。

8月2日中国農政局の職員2名が八方原公民館に来訪、黒瀬代表と書記が対応しましたが、書類の記入方法などについて指導をいただきました。また施工箇所の確認も行いました。

指導いただいた主な点は、この事業で言う現金出納簿は現金と預金を合算した「資金勘定元帳」として処理することでした。これからも適切に対応してまいります。

市との協定「共同活動2期目」

共同活動事業は第1期の5年かが終わり、第2期となりました。新たな事業となりますので、事業計画を提出し、山口市との協定を結ぶ必要があります。5月の総会の後、必要書類を揃えて関係機関に提出しておりましたが、8月23日、協定書が届きました。

これで名実ともに第2期目の事業がスタートしました。今後ともよろしくお願いします。

八方原ふれあい盆踊り

太鼓が響く夏の夜空 ますます広がる踊りの輪



会場のあちこちに笑顔と笑いの輪ができる



△思い思いの踊り参加



完売。生改連のメンバーもほっと一息▽

八方原ふれあい盆踊りが8月4日に行われました。多くの地区民が参加し、夏の夜を楽しく過ごしました。

盆踊りはご存じのとおりご先祖への感謝の踊りです。この宗教的な側面は忘れてはならないところですが、一方では、生命力豊かな夏を祝う「夏祭り」でもあります。

小郡地域でも多くの地区で夏祭りや盆踊りが行われますが、それぞれのスタイルがあります。踊りだけのところ、ステージを設けゲストを招いてみんなで楽しむところ、地区の芸能大会のようなものもあります。

盆踊りには太鼓は欠かせません。それぞれの歌に合わせて、どどどん、どどどんと太鼓の音が響くはずですが、太鼓のたたき手が少なくなってきました。ことに「白川おどり」は歌と太鼓で盛り上げますから、太鼓がリードしていかないとうまく踊れません。かってはKさんが一人で叩いていました。Kさんは周りにどんな曲が流れていようが、白川おどりの太鼓を打ち続けていました。誰も止められない太鼓でした。

そこまではいかなくても、一通りの太鼓が叩ける人を育てていかなくてはなくてはいけませんね。みんなで頑張りましょう。

八方原・森下連合チームが準優勝

市子ども会連合会小郡支部が毎夏に行う球技大会が8月5日に行われました。ドッジビーというゲームで行われますが、八方原・森下連合チームは常に好成績を収めています。そのため他地区の追い上げも厳しく、地区によっては炎天下の日中も練習に取り組み地区もありました。

八方原・森下チームは」朝のラジオ体操の後、1時間程度を練習にあて、万全を期して大会に臨みました。初めは円盤の投球練習、そして実践的な試合形式の練習をこなしました。

試合当日も、順調に勝ち上がり、いよいよ決勝戦。対戦相手は昨年の決勝でも対戦した柏崎チーム。残念ながら準決勝までのような戦いが展開できず、惜しくも準優勝となりました。素晴らしい成績、おめでとう。みんなの努力の成果です。



準優勝を決めてみんなで記念撮影

ソフトボールチームが市の大会に

9月2日に行われる山口市体育大会に、八方原ソフトボールチームが出場します。これは昨年の小郡地域大会で奇跡の大逆転で。優勝し、地区の代表となったためです。

良い結果が出さるように7・8月と練習を行ってきました。子どもたちに負けないように頑張ります。

和やかな話し合い



ふれあい盆踊りのバザーはどこも盛況でした。青年部では入念に打合せをしました。意思疎通の決め手は飲みニケーションです。

稲の病害虫対策防除ヘリコプターがやってきました。薬剤を散布しながら正確に飛行する小型ヘリコプターですが、非常に高性能で、直進、後進、空中での静止も思いのままです。

ラジコンヘリは昔から大変に操縦が難しいものとされていました。空中での静止はまさに、神業だったのです。

電子的な姿勢制御技術の発展でこうしたことができるようになったとのことです。

制御技術が作業を可能にしたラジコンヘリ



最新の技術が積み込まれた防除用ヘリコプター

働いてみませんか パートさん募集

地区内の事業所山陽鋼機建設（株）さんの新たな事業有料老人ホーム「ゆめの里くろかわ」が利用者に食事をお出しする厨房職員を募集しています。朝昼夜の3勤務があり、週3日以上の勤務を条件としています。時給や勤務形態など詳しいことは直接ご相談ください。

山陽メディカルケア（株）
☎０８３・９７６・８８６８
担当　伊勢・井上

今さらそんなことを言われても困るよね　(^)o(^)

小郡地域の金堀、尾崎、山手上地区はそれぞれ、新住居表示に変更されました。平成24年度は新町西、東など上郷地区の大部分が変更されます。

ところが思わぬ問題が発生しているようです。新しい団地ヴェルコリーナは市のルールに違反するとして認められないということになってしまいました。関係者によると市の住居表示は漢字もしくは平仮名に決められており、カタカナ表示はできないというのです。ところが、ヴェルコリーナ関係者はそんな話は聞いていないと猛反発。

とうとう今回の表示変更区域からは外れることになったようです。